

## 【事例Ⅲ】 (概略)

### 「親プロ」ファシリテーターの会の活動について

発表者：神石高原町まちづくり推進課

神石高原町では平成20年からファシリテーターの資格を取得していただき、現在では16名のファシリテーターの方がおられます。資料の実績を見ていただくとおり、町内ファシリテーターの取り組みがあまりできておらず町外のファシリテーターの方をお願いしていただくことが多い状況です。このため、昨年町内のファシリテーターの方に集まっていただき「親プロファシリテーターの会」を開催し、今後の活動と方向性について協議しました。

今後の活動としては、資料に記載のとおり、まずはファシリテーターとしてのスキルアップを行うため、研修会の参加や独自の講座の開催、また、保護者に対するプログラムを実施していく予定です。

保護者に対するプログラムとしては、昨年神石郡PTA連合会の研修会において、小中学校の保護者を対象に、コロナ対策で2会場に分かれて「親プロ」勉強会を実施して頂きました。子育てに関する悩みを話し合い、和やかに行いました。参加者アンケートでは、「悩みを話す場があって良い。」「悩みが一言で解決する場合もある。」などの意見がありました。各会場の担当者から報告してもらいます。

#### (三和会場)

講座終了後の反省会では、ファシリテーターの声として、参加者同士が知り合いの場合、話しすぎてしまうため、時間をはかって音を鳴らすなどの工夫が必要という提案がありました。また、教材を地域に合わせて修正しながら活用していく工夫をする提案も出ています。ファシリテーターの経験が浅く勉強が足りないので、今回のような研修でスキルアップをしていきたいです。

#### (油木会場)

地域にファシリテーターとして育つ土壌が少なく、経験不足の問題があります。会場の反省会では、ファシリテーターから「ファシリテーターが話しすぎる。」「今後しっかり経験をつんで、悩みを解決・軽減できるファシリテーターを目指したい。」等の意見が出ました。生涯学習には「親プロ」が重要と考え、ファシリテーターを育成して親プロを推進していくためにNPOを立ち上げました。まだ始動したばかりですが、「親プロ」を推進して親のニーズに応じていきたいです。

○質問： NPO法人「神石高原つたえるネット」の活動内容について教えてください。

○回答： NPO法人「神石高原町つたえるネット」の活動は基本的に生涯学習系です。地元で生活

する町に誇りを持てる活動をしたという事で作りました。子供達や町から出ていった人達に、民話などを通じて地元の伝統文化や自身のルーツについて知る事で誇りを持ってもらう活動と合わせて、子供の健全育成のために「親プロ」が効果的です。また、親がストレス無く子供としっかり関わっていく事が大切で、「親プロ」の推進で親のストレスを軽減すると同時に、親が悩みを吐き出す事で、虐待やいじめ等の早期発見・予防につながると考えています。その為に NPO を立ち上げて活動させていただいています。